

## ■日本燃焼学会創立50周年記念特集■

## 学会創立 50 周年記念行事

創立 50 周年記念事業特別委員会委員長 新岡 嵩

日本燃焼学会は、平成 17 年に創立 50 周年記念の年を迎えて記念事業を行いました。日本の燃焼研究は、燃焼科学に対する学術的貢献を果たしてきただけでなく、エネルギー需要の増大強化への対応、公害・安全課題の解決、省エネルギー推進への寄与など、あらゆる燃焼やエネルギー問題の中核的存在として、我が国のみならず世界の学術・工学・技術に多大な貢献をしております。

創立 50 周年の節目を迎えるにあたり、これまでの本学会の歴史を紐解いてその功績を讃え、なお一層の燃焼研究への理解を深めて戴きたいと考えました。また、これを契機に会員の皆様の一層の研究意欲を喚起できればと考えた次第です。

平成 17 年 12 月 6 日タワーホール船堀にて記念式典を執り行いました。越光先生の司会のもと、最初に角田敏一学会長が式辞を述べ、続いて The Combustion Institute の B. Haynes 会長、近隣諸国を代表して韓国燃焼学会の H. D. Shin 前会長から祝辞を頂きました。その内容は本号に掲載されている通りです。引き続いて、平野敏右先生が「日本における燃焼研究—最近 50 年の歴史を—」と題して記念講演をしていただきました。更に記念特別講演として、C. K. Law 先生が、「Fifty Years of Magnificent Combustion Research in Japan」と題して日本の燃焼研究が世界に果たしてきた貢献を説明されました。記念式典の閉会の辞を溝本雅彦副会長が行い、記念パーティーに移りました。木村逸郎先生、斎間厚先生、瀬賀節子先生から思いで話をいただき、和やかに終えることができました。

第 43 回燃焼シンポジウム会期中に同じ会場で、記念展示も行いました。内容は、日本燃焼研究会・日本燃焼学会の歴史、学会の諸データ、燃焼シンポジウム年表、写真等のパネル、学会出版物、The Combustion Institute 顕彰メダルの展示等でした。土橋律先生はじめ多くの方々が苦勞して資料の収集に当たりました。展示は、特に若い方々にとっては初めて見たり知ったりすることが多く興味深かったものと思われまふ。更に、記念出版として本号がその特集号になっております。編集は石塚悟先生にご苦勞頂きました。記念展示は期間内で終了してしましますが、本号はつぶさに記念事業の内容を残すことが可能で、多くの方々に執筆いただきました。

このように、皆様がかなり熱心にボランティアをしていただき、記念すべき行事を滞りなくできました。この機を逃すと、学会の資料が逸散しそうでし、十分な記録も残せなかつたように危惧しておりました。完全とは行きませんが、かなりきちんとした形で今後に残せるものが出来たと思っておりますし、会員の皆様にも十分に 50 年を振り返ってもらえたものと思っております。

特に、若い大学院学生・研究者が燃焼研究への意欲を更に高めていただけたのでしたらこれに勝るものはありません。海外からお呼びしたお三方も日本燃焼学会の内情を知っていただけましたし、一層その規模の大きさと組織の強さを再認識されたものと思っております。ご協力いただいた方々には本当に感謝しております。有難うございました。



式典で挨拶される角田会長



記念パーティーで挨拶される新岡委員長